

令和2年度第1回東大和市文化財専門委員会議

会 議 次 第

日 時：令和3年3月19日（金）

午後2時00分から

場 所：郷土博物館会議室

委員長あいさつ

議 題

- ・旧日立航空機(株)立川工場変電所の工事進捗状況について
- ・工事後の公開について

報 告

- ・村山上貯水池上堰堤耐震強化工事について

その他

## 令和2年度第1回東大和市文化財専門委員会議（要旨）

開催日時：令和3年3月19日（金） 午後2時00分～3時10分

開催場所：東大和市立郷土博物館会議室

出席委員：安島喜一委員 石井裕光委員 加藤哲委員 小泉智和委員  
中藤成実委員 永石文明委員 宮本八恵子委員 藤田昭造委員 松原典明委員  
9名 （欠席委員：砂田さと子委員）

事務局：高田社会教育課長・坂本郷土博物館長・濱田主任・池田主事

### ○議題 旧日立航空機(株)立川工場変電所の工事進捗状況・工事後の公開について

事務局：令和2年8月から令和3年7月にかけての契約を行い工事を進めている。工事を進める前に仮事務所を設置して、その後足場を覆った。一時期は覆いで変電所が見えない時期があったが、今は見えるようになった。

事務局から会議資料に基づき、工事の具体的な進捗の説明を行った。

委員：コンクリートの間に樹脂はどのくらい入るのか。よく石塔の補修ではなかなか浸透しないこともある。

事務局：内部は三層構造になっており、場所によって入る量が異なる。

委員：白くなっているところはリボーン（薬剤）が白化したところか。

委員：白くなるといわれている。

委員：ひび割れから薬剤が漏れ出しているが遠目にはわからないように補修してほしい。

委員 外の施設、西側で防護壁があった時に比べ、下に2mの台が載っている。説明板をつけないと分からない。

事務局：もともとの高さになっている。平成7年の工事前の写真を用いて説明。

委員：どのくらい工場従事者の語り部で東大和在住の方はいるのか。

事務局：東大和在住の方はほとんどいないと思われる。

委員：木が何本か植えられているが、どうしてここにこの木が植えられたかの経緯が分からない。アオギリは原爆で被災したものか。

事務局：アオギリは原爆で被災したものの子孫である。

委員：関連施設どうして互いに情報共有・集約はしているか。アメリカ軍は資料をしっかりと残していた。明確な目標をもって機会があったら呼びかけたらい。

事務局：郷土博物館の開館時には近隣4市で巡回展をしていた。

委員：東京都と埼玉県では違ってくる。広域で共有することは必要。

委員：立川駅で啓蒙すると来場しやすいと思う。

### ○報告 村山上貯水池上堰堤耐震強化工事について

事務局：現在、村山貯水池の耐震強化工事を行っている。一部が埋蔵文化財にかかっている関係で工事の関係者と連絡を取っている。軽便鉄道のレールが出てきた。経緯としては土留めを解体した時に発見された。鉄筋コンクリートの鉄筋のかわりにレールが埋め込まれていた。レールには刻印が入っており、物によって I L L I N O I S、U . S . A、1 9 1 8 が刻まれている。

委員：もうじき、多摩湖建設100周年にあたる。3年後に照準を合わせて考える必要がある。東京都ではプロパーの方が少なく、多摩湖100周年と言ってもピンとこない。村山貯水池が文化財指定されていないのは不思議に思っている。

委員：会議資料の写真にある水道を通していた鉄管については都に連絡した方がいい。

委員：多摩湖100周年に合わせて、東村山と武蔵村山にも提供してはどうか。この土留めは初期の物だろうか。誰の手によってどうやって作られたかは東京都の図書館でも調べることが出来る。刻印をインターネットで調べるとその会社は大手の傘下に入ったようである。

### ○その他

事務局より、準備中の企画展示「道具今むかし」について案内を行った。